



日本語話者の英語音声の特徴に関する研究、 及び日本人学習者に対する英語音声教育への応用

人間文化学部 国際文化学科
教授 船津 晶代（ふなつ あきよ）

連絡先 県立広島大学 広島キャンパス 1813号室
E-mail joto@pu-hiroshima.ac.jp

専門分野： 英語音声学

キーワード： 音声音響分析, 日英語対照音声学, 英語発音指導,
英語学習者, 小学校英語教育

● 現在の研究について

1. 日本語話者の英語音声の特徴分析

英語が世界共通語となり、さまざまな言語を母語とする話者が英語を使用する場面が多くなる中、非英語母語話者の英語についての研究が近年、盛んに行われている。日本人の英語に関する研究もそのうちの一つであるが、特に英語コミュニケーション能力が求められる現状において、日本語話者の英語音声の特徴について研究を行うとともに、発音向上を目指した音声教育への応用を進めている。

(1) 日本人学習者の英語母音と子音の特徴分析

前後の子音の違いによる、日本人学習者の英語の母音の識別力の違いと母音の音響的特徴との関係について分析してきている。また、学習者が発音した英語母音・子音が英語話者にどのように聞き取られるか、発音明瞭度を調べている。

(2) 日本人学習者の英語プロソディの特徴分析

日本人学習者の英語のアクセントやイントネーションの発音明瞭度（通じる度合い）と音響的特徴との関係について研究してきている。

(3) 日本語話者のための「英語音声共通参照枠」の構築：CEFR や CEFR-J を基にして、英語学習歴や学習期間に関わらず、初心者から上級者まで共通して使用できる、段階別英語発音・聞き取り学習到達度指標を構築してきている。

2. 研究成果の英語音声教育への応用

(1) Moodle を利用した、マルチメディア型英語発音自律学習システム「英語聞き取り・発音ク

リニック」(JFK English Sound Self-training Course) を構築した。

(2) 小学校教員のための「英語音声指導マニュアル」の開発、及び小学生の英語音声の分析

小学校の英語指導で現在使用されている教材に準拠した発音指導書を作成中である。アルファベットの発音指導書と付属 DVD を作成し、動画を Web 配信している。また、児童の英語音声の特徴について分析を進めている。

● 今後進めていきたい研究について

2020 年度より小学校外国語活動が中学年対象に、外国語科が高学年対象に導入されることを踏まえ、現在開発中の小学校教員のための英語音声指導マニュアルを完成させる。その基礎資料として、今後、小学校児童の英語の音声を分析し、その特徴を調べるとともに、学年進行とともに特徴がどのように変化するか調べたい。

● 地域・社会と連携して進めたい内容

小学校の協力を得て、英語音声指導マニュアルを試用いただき、意見を得たい。それを基に、マニュアルの改善を行っていききたい。また、児童の英語音声の実態を把握し、マニュアル作成に反映させたい。

● これまでの連携実績

広島市内の小学校の協力を得て、児童の英語音声の収録を行い、英語音声指導マニュアル（案）を提供した。全国の希望する教員にも提供した。

平成 21 年度から 24 年度までマルチメディアを利用した英語学習に関する公開講座を実施してきた。また、教員免許状更新講習の講座「英語音声の理論と実践」を毎年担当している。2019 年度は本講習講座の実施に加えて、小学校、中学校教員を対象とした公開講座「英語発音講座—アルファベットからナーサリーライムまで」を実施する。